社団法人 石川県作業療法士会 ニュース
第80号　　2011年９月23日　発行

第20回石川県作業療法学会が開催される！

（社）石川県作業療法士会　学術部担当理事
麦井　直樹

8月28日（日）に第20回石川県作業療法学会が金沢リハビリテーションアカデミーにて開催された。学会テーマは『作業の魅力』である。今回は、14題の一般演題の他に、認定作業療法士（以下、認定OT）である、東川哲朗学会長（金沢脳神経外科病院）が20回目の節目として特別に企画したシンポジウム、『石川県士会のこれまで、そしてこれから…』が行われた（左写真）。司会は中川等史氏（児童デイサービス キッズルームラディッシュ・石川県作業療法士会副会長・認定OT）が務め、シンポジストとして、小池隆行氏（城北病院）から『風船バレーボール大会への取り組み』、岡田千砂氏（桜ヶ丘病院・認定OT）から『能登地震の時の石川県作業療法士会の活動について』、卜部弘子氏（介護老人保健施設和光苑・認定OT）から『認知症出前講座の活動実績と今後について』、そして進藤浩美氏（恵寿総合病院・石川県作業療法士会会長・認定OT）から『石川県作業療法士会のこれまでの熱い活動の実績と今後について』の発表と熱い討論があり、石川県作業療法士会の活動をふりかえった実に記念学会らしいプログラムとなった。また、デイサービスけやき通りの葉山靖明先生からは、“『作業療法の魅力』-作業療法の大ファンからのメッセージ”というタイトルの特別講演をいただいた（下写真）。葉山先生は当事者の視点から、作業、そして作業療法の魅力、作業療法士へのメッセージをこれまた熱く伝えられていた。

学会長奨励賞は今回２演題に対して贈られた。受賞者は、『脳梗塞発症後重度左片麻痺と不穏症状を呈し活動に拒否的となった男性への作業療法』を報告した金沢脳神経外科病院の笹川真奈美氏、『特徴的な箸操作獲得を目指した1症例』を報告した公立能登総合病院の中野佳織氏である。お二人にはお祝いを申し上げると共に、益々の研鑽を期待したい。

今回の学会参加者は142名であり、活発な論議が行われ、充実した学会となり、盛会のうちに終了した。

学会長奨励賞受賞者の声

金沢脳神経外科病院　笹川　真奈美

第20回石川県作業療法学会が開催され、私は「脳梗塞発症後重度左片麻痺と不穏症状を呈し活動に拒否的となった男性への作業療法」という表題で発表し、学会長奨励賞を頂いた。今回の発表では、自己効力感を失っている対象者と機能的な回復にしか目が向かない配偶者を目の前にし、困惑した。しかし、外出という一つの作業をきっかけに本人・配偶者に変化をもたらすことができた。今回の受賞を感謝し、励みとして今後の臨床をがんばっていきたい。

公立能登総合病院　中野　佳織

今回特徴的な箸操作が自立した症例を通し、箸という作業がアイデンティティーの獲得につながる重要な意味を持つ作業であると学んだ。学会に参加し諸先輩方の発表や、葉山先生の特別講演から作業療法士として行なわなくてはならないこと、作業療法の可能性を改めて学び、今回学んだことを今後に生かしていきたい。

至らない部分ばかりですがこのような賞を頂けたこと、ご指導いただいた先輩方、本当にありがとうございました。

第20回石川県作業療法学会を終えて

金沢大学医薬保健研究域　中嶋　理帆

8月28日に金沢リハビリテーションアカデミーで第20回石川県作業療法学会が開催され、「作業の魅力」をテーマとした特別講演、シンポジウムと、14題の一般演題発表があった。特別講演では、「作業療法の魅力－作業療法の大ファンからのメッセージ－」というタイトルで、“作業療法の大ファン”である葉山靖明氏自らの体験を通して感じた作業療法の魅力、効果などについて熱くご講演いただいた。作業療法だからこそできることは何か、今後作業療法が生き残っていくためにすべきことは何かについて改めて考えることができた。また、作業療法士に対する過分なまでのお褒めの言葉をいただき、私自身も、作業療法のファンが1人でも増えるような作業療法士になりたいと思った。また、私は一般演題「中枢神経障害」のセッションで発表した。質疑応答時や、休憩時間に発表内容に関して多くの方からご意見やご質問を頂き、自分ではなかなか気付けなかった観点からこれまでの臨床を振り返るよい機会となった。

第20回石川県作業療法学会に参加して

ケアパック石川リハビリ訪問看護ステーション　織田　裕可里

8月28日、金沢リハビリテーションアカデミーに於いて第20回石川県作業療法学会が開催された。各演題が興味深い内容であった。中でも心に残ったのは、2演題あった箸動作の検証であった。対象者のプロフィール等を考慮した結果、それぞれに別の箸の持ち方の獲得が目標であった。教科書通りが必ずしも正解ではなく、対象者に合わせたアプローチが必要である、ととても作業療法らしい発表に思った。

シンポジウムでは石川県士会の活動報告が4人の先生からあった。石川県は他県と比べても見劣りしない活発な県士会である。先駆的な活動をしていただいている諸先生方のお蔭だと感じる内容であった。

全体を通して特に印象に残ったのは、葉山先生の特別講演であった。作業療法は「ココロとカラダを寄り添わせ、傾聴し、共に作業を探し、共に作業を遂行し、そして共に喜びを分かち合う」。作業療法の大ファンと語ってくださった先生には涙が出る程嬉しいものであった。語って頂いたお言葉は他の職種に誇ることが出来る作業療法の専門性だと思った。作業療法を受けたご経験のある先生から作業療法をスピーチして頂けることは、本当に有難い。同時に冷や汗も感じている。自分の臨床は先生の言葉に添えているのだろうか？今後もお言葉に恥じないような臨床を目指そうと、身が引き締まる思いを感じた1日となった。他にも力強いエールを沢山頂いている。参加できなかった方は是非、一度抄録に目を通していただきたいと思う。

学会開催にあたりご尽力いただいたスタッフの皆様方、貴重な機会をいただいたことに心から感謝いたします。ありがとうございました。

日本作業療法士協会の一般法人化に向けた代議員制度と選挙

会長　進藤　浩美

本年7月30日～31日に、日本作業療法士協会・士会合同役職者研修会があり、その中で公益法人化に向けての報告とそれに対する意見交換があった。それを受けて、8月16日に文書が届き、緊急理事会を開催したので、会員の皆様に報告する。

【協会組織の改編】

新定款の公益目的事業に合せて、部と委員会の組織が変わった。

公益目的事業	協会組織	
学術の発展	学術部	学会運営委員会、学術委員会、機関紙編集委員会
技能の向上	教育部	養成教育委員会、生涯教育委員会、研修運営委員会
有効活用の促進	制度対策部	医療・介護保険対策委員会、障害児・者制度対策委員会、福祉用具対策委員会
普及と振興	広報部	広報委員会、公開講座企画委員会
国際関係団体との提携交流	国際部	国際委員会、WFOT代表
法人管理・運営部門	事務局	法人庶務、企画調整委員会、規約委員会等
	渉外担当理事	国内関係団体連絡調整担当、士会連携担当

【代議員制導入】

まず、代議員とは「正会員の代表として選出される人」である。なぜ代議員制を取り入れるのかは、「総会の成立に過半数の出席者が必要」だからである。代議員の任期は4年で、選出はインターネット投票となる。正会員300人に対し1人で、各県に基本数1人が加算されるので、石川県の定数は3人となる。

【代議員選挙】

先日の、石川作業療法学会で報告したように『代議員選挙運営委員』を選出しなければならず、8月28日の緊急理事会で『公立つるぎ病院の渡辺貴之氏』を推薦することにし、ご本人の同意が得られたので協会に報告した。選挙はこれからの予定である。

公示	10月13日
立候補　受付期間	10月14日～11月1日
告示の掲載(受理結果)	1回目:10月24日　　2回目:10月28日　　3回目:11月4日 この3回ホームページに立候補者が掲載される。 これらは選挙になるのか、定数に満たず推薦が必要なのか県士会としては検討が必要な期間。
最終告示	11月14日
投票	11月20日～12月4日 選挙の場合はインターネット投票 期間中は、全ての地区の投票率を投票サイト画面で公開
報告	ホームページ　12月7日　　12月号ニュース

当会も公益法人化に向けて動き出しており、今後、随時報告していく。

研修会報告

“高齢者のシーティング～シートの張り調整の考え方～”参加報告

南ヶ丘病院　高村　美帆

2011年7月17日、石川県作業療法士会主催の“高齢者のシーティング”が、金沢福祉用具情報プラザで行われ参加させていただいた。講師は永生病院の岩谷清一先生、講義ではシーティングの意義、股関節・膝関節屈曲拘縮への対応等、実技ではマット評価・身体寸法計測・背張り調整を教えていただいた。

永生病院では、病院にある車いすが「椅子」としての機能を持ち合わせていないために生じる諸問題を解決する目的で、シーティング・クリニックが開設されており、組織作りをして患者の身体機能・生活環境に応じた座位保持姿勢を提供されていた。また永生会ホームページには実際に試したものの長所、スペックを記載し、車いすを選ぶ際の参考にと紹介されている。

実技ではマット評価、身体寸法計測、車いすの選定・調整をする際の背シートの張り調整の考え方と手順を学ぶことができた。今まで車いす上だけでの評価をしがちだったが、車いすにより本当の姿勢を誤魔化され障害を見逃すことがあり、マット評価を行い車いす上だけで評価しないことが大切と実感した。研修会後、実際の患者様に対し背張り調整を行い、左右非対称な姿勢から対称な姿勢に近づけることができ、背張り調整の重要性を実感した。座位姿勢は苦痛とすぐに臥床を希望される方も、車いすの調整次第では苦痛を感じず、座っていることの方が楽と思えることで離床を促し、ADL・QOL向上につなげられるのではないかと思われる。

またシーティング・クリニックにおける車いす適合の流れは、評価・試用期間を経て、再評価しレンタル・購入に至るとのことであった。退院時に突然入院中と異なる車いすを使用することとなり、不適合とならないために、今回学んだことを応用し入院中に本当に適切な車いすかしっかり評価し、退院後も患者様が安心して使用できるよう、1人1人に合った車いす調整を行っていきたいと思った。

小児医療部講習会報告

キッズルーム　ラディッシュ　中川　等史

平成23年7月24日（日）に石川県リハビリテーションセンター 4階大研修室において、小児医療部の研修会が開催された。参加人数は、73名で内訳は、作業療法士が53名、他職種が7名、学生が9名であった。講師は、児童デイサービス「ぐるぐるめろん島」の作業療法士である若松かやの先生で、テーマが「児童デイサービスでの作業療法」と言うことで、地域での小児の作業療法の実際を具体的な事例を踏まえながらお話して頂いた。

講習会の前半は、発達障害を持つ子どもたちの基本的な症状や問題を非常にわかりやすく説明され、作業療法士としての評価や役割を示唆して頂いた。また、「お母さんのための感覚統合」という内容で発達障害を持つ子どもたちの問題を一つひとつ丁寧にわかりやすく解説され、その対応の仕方を具体的に示され、すぐに明日から実践できるものであった。また、後半の内容は、ぐるぐるめろん島での児童デイの実践について詳しく説明がありぐるぐるめろん島には、音楽療法を行うところ、感覚統合療法を行うところ、絵画や造形を行うところ、言語療法を受けるところ、TEACCHを中心とした社会生活技能を学習するところという風に、子どもによって様々なサービスが受けられる児童デイサービスである。

作業療法士や言語聴覚士、音楽療法士など専門職が関わっての発達障害のデイサービスを自立支援法の中で実現していた。自立支援法は、市町村中心に実施が行われているが、全国のどこを見ても専門職が多く関わっている児童デイサービスは記憶にない。作業療法士としての個別指導が上手く取り入れられている児童デイサービスであった。

平成24年の4月に法律が改定され、児童デイサービスのサービスが自立支援法から児童福祉法へと変わる。全体像が未だ見えないところもあり、児童を取り巻く福祉の環境が大きく変貌する。徐々に増えている発達障害に関して石川県作業療法士会も日本作業療法士協会にしても力を注いでいく分野になると考えられる。今後、是非とも発達障害を持つ子どもたちの地域支援に携わる作業療法士が増えるような働きかけが必要であると思う。

各支部支援活動状況

金沢東支部

金沢大学附属病院　麦井　直樹

平成23年度の金沢東支部の第2回の症例検討会を10月25日（火）に金沢子ども医療福祉センターにて開催予定である。詳細はホームページにて発信していく。毎回若い会員からの活発な話し合いが行われている。多くの参加を期待している。今回は、福祉機器の適応についてのミニレクチャーを検討している。

金沢西支部

済生会金沢病院　西谷　厚

第1回西支部勉強会が8月28日、済生会金沢病院にて開催された。まず初めに研修会として小川医院で訪問に携わっている管理栄養士の手塚波子先生を招き「摂食嚥下障害と栄養」という演題で、在宅での栄養管理について実践での症例報告を交え講演をしてもらい、病院でのリハビリ業務だけでは得ることの出来ない貴重な知識を得る事が出来た。今回は西支部以外の方の参加もあった。引き続き症例検討会を行い、今回は5例の発表があり、今年度新人の報告も行われた。最後になりますが9月4日に開催予定であった「福祉のつどい」は、台風のため中止となった。

能登支部

公立能登総合病院　山岸　眞喜子

今年度、能登支部役員が一部変更となり、新たに担当理事として恵寿総合病院の進藤浩美先生、会計として介護老人保健施設和光苑の池田唯先生、学術部として恵寿総合病院の渡辺沙由里先生となった。

また、第2回能登支部事例検討会は2月に予定している。一緒に研修会もおこなう予定なので、皆さんの発表及び参加をお願いしたい。

加賀支部

久藤総合病院　大西　信勝

今年度、加賀支部担当理事として新たにはまなすの丘の明福真理子先生が加わった。今後加賀地域に密着した地域貢献事業への参加も検討していくので、よろしくお願いしたい。

また、今年度加賀支部では症例検討会を平成23年11月27日（日）と平成24年2月19日（日）に辰口芳珠記念病院で予定している。多数の皆さんの発表及び参加をお願いしたい。

平成23年度　社団法人石川県作業療法士会第3回理事会議事録

日　時：平成23年7月1日（金）　19：00～21：30
場　所：県リハセンター
出席者：進藤、中川、柴田、東川、安本、寺田、麦井、岡田、大西、西川、寺尾、西谷、酒井、千田、安田
委任状2名 小池、明福　部員 藤田、稲積
・2011年度石川県OT会役員担当理事案について
進藤）今年度の役員担当理事案提示．承認
進藤）金沢西、東支部の担当者を3人選定する．承認
事例検討会は石川県作業療法士会として質を維持するため、認定作業療法士3名の参加を確保したい．他の支部での参加も可能であるため、是非参加して欲しい．
・第1号議案：各部・委員会・支部事業経過報告
【教育部】寺田）教育部会にて今年度の現職者研修の日程、講師が決定した．
【病院医療部】千田）前担当理事より、研修会の件、認知症の作業療法に関する連携シートの件を引き継いでいる．
【介護保険部】西谷）中堅リーダー研修会、加賀能登は終了．8月からは介護保険改定についての研修会の準備を進めていく．今年度は現職者選択研修の老年期開催予定．
【精神医療部】岡田）11月12日、金沢アカデミーで研修会予定．
【健康福祉部】寺尾）行政の視点から県士会へ発信できればと思い、介護保険部と併せて発信していく．
進藤）自分の担当している区域から顔が見えるような連携を作って欲しい．
【特設委員会　専門委員会】進藤）10月に研修会を2回開催予定．10/22に吸引、吸痰研修会．10/30にリーダー研修会を開催予定．
【事務局】東川）県士会ニュース印刷業者を選定した．理事メール登録者は会長・副会長・事務局長・理事・金沢事務局・能登事務局、支部長までとする．承認
・第3回介護フェスタ石川2011実行委員選出（2～3名）依頼あり、開催は11月12日．安田理事出席予定．
【財務部】安本）今年度の会費納入状況は納入率96%、未納者29名．
【渉外部】西川）6/4の百万石踊り流しに46人参加．
【企画部】小池代理進藤）第25回風船バレーボール大会．審判講習会は8月7日、9月3日城北病院にて開催予定．新会員歓迎会の参加者は新会員52名、一般61名、表彰4名、合計117名．
【事業部】柴田）協会が発行しているパンフレットの残数を把握する．また、出張講義に道筋をつけていきたい．
【生涯教育委員会】寺田）協会としては認定OT、専門OT、医療広告の実現に向けて取り組んでいく流れ．
【認知症予防推進委員会】岡田）今年度パンフレット（小冊子）発行予定．7月中に内容を修正し、今年度中には完成予定．
【情報通信委員会】東川）レンタルサーバーの年度更新実施．県士会ニュースを掲載予定．
【都道府県作業療法士連絡協議会】柴田副会長より都道府県連絡協議会の報告があった．

平成23年7月1日
議事録署名人：寺田佳世、東川哲朗

平成23年度　社団法人石川県作業療法士会第4回理事会議事録

日　時：平成23年8月28日（日）　16：30～17：00
場　所：専門学校　金沢リハビリテーションアカデミー
出席者：進藤、中川、柴田、東川、安本、西川了、寺田、小池、酒井、麦井、岡田、大西、寺尾、西谷、酒井
代理出席部員：渡辺（代理）、西川拡（代理）　委任状：安本、千田　部員：河野、稲積
・第1号議案：代議員制度について
（進藤）代議員選挙の運営委員を公立つるぎ病院の渡辺先生に依頼．
第2号議案：ニュース発行について
（進藤）9月末のニュース内容は、石川県作業療法学会、福祉のつどい、代議員制度、各研修会、各支部、理事会報告、今後の予定とする．
（酒井）原稿締切は9/9．
・その他
（進藤）訪問リハビリについて、県士会の窓口や組織を求められ、進藤が担当する．今後、研修会などがあれば、PT・STの代表で話し合っていく．

平成23年8月28日
議事録署名人：小池隆行、明福真理子

新 入 会 員 (52名)

浅ノ川総合病院
岩島　寛
長澤　圭祐
藤元　佑佳
小坂　美沙

医王ヶ丘病院
萬　貴裕
平間　悠里江

石川県立高松病院
山田　靖子
渡辺　涼子

岡部病院
野　哲郎
宮谷　里恵

加賀市民病院
苗代　祐希

かないわ病院
高野　直子

金沢こども医療福祉センター
菊澤　亮

金沢社会保険病院
板倉　沙織
坂口　紗季

金沢赤十字病院
淺井　庚紀

金沢大学医薬保健研究域保健学系
千葉　馨

金沢大学附属病院
高崎　聡美

金沢脳神経外科病院
納谷　恵美子
山本　恭啓
山本　詩織

木島病院
安藤　恭輔

恵寿総合病院
坂本　真理
大野　佳祐

公立つるぎ病院
小谷川　美希

公立能登総合病院
上井　紘貴

国際医療福祉専門学校　七尾校
吉村　誠
今井　伸戸

桜ヶ丘病院
松本　彩
廣川　愛美
尾川　正敏
中平　昇吾
市井　理沙
澤野　千春
中村　美貴

城北病院
小橋　麻里奈
千葉　真梨恵

千木病院
山田　真理恵

なごみの里鹿島
木下　紀子
石黒　佑季

なでしこの丘
菅原　優翔

百寿苑
北　洋介

福久ケアセンター
澤田　さやか

藤井脳神経外科病院
砂田　真希
坂本　祥子

まだら園
川村　淑恵

南ヶ丘病院
灰谷　あかね
奥村　奈央
久保　友理香
増田　千明

やわたメディカルセンター
江川　里奈

和光苑
大石　真梨子

(順不同)

施設紹介

介護老人保健施設はまなすの丘

明福　真理子

能美市介護老人保健施設はまなすの丘は、石川県内では穴水町に次いで、2番目の町立の老人保健施設として平成8年5月に開設されました。メジャーリーガー松井秀喜選手のふるさと、旧根上町の海岸沿いに建っています。緑色の屋根が目印です。

3階通所リハビリテーションからは360度パノラマ展望を楽しむことができます。眼下の日本海は日々その色を変えて私たちの目を楽しませてくれ、沈みゆく夕陽は老若男女を問わず魅了される絶景です。晴れた日には能美市、小松市の町並みと白山を一望することができます。

入所定員は74名、通所定員は25名です。利用者の皆さんの平均年齢は87～88歳ですが、職員の平均年齢はそれより半世紀若く、活気に溢れた施設だと自負しています。常勤2名、パート1名の作業療法士が利用者の皆さんと一緒に楽しい日々を送っています。

はまなすの丘では平日は毎日9時半から治療体操の時間を作っています。朝の日課として利用者の皆さんの間にも定着しています。最近ではこの時間が実習生の皆さんの登竜門になっています。朝の体操の時間、50名近くの利用者さんに囲まれて体操を仕切ることができるようになれば、はまなすの丘での実習は大成功になることでしょう。

ベッドから起き上がり、好きな活動を選んで参加できるように、そして自宅や住み慣れた地域へ積極的に出かけることができるように、看護・介護・リハ・栄養・事務のあらゆる職種が一丸となって施設を盛り上げています。

会員が語る

もりやま越野病院デイケアセンター　細川　理衣

松原病院の富田さんよりバトンを受け取りました、もりやま越野病院デイケアセンターの細川理衣です。今年で入職5年目、新入職当初は他に常勤の作業療法士がおらず心細さを覚えたものの、他職種の方からも多く教えて頂き、良き仲間に支えられてきたと思います。

当センターに通所される方は年齢60歳代～100歳代、介護レベルは支援～要介護度5とばらつきがあり、家族と同居、夫婦暮らし、一人暮らしなど暮らしぶりも様々です。作業療法士はこれらの方々と訓練場面だけではなく食事・トイレ等実際のADLに関わることができるほか、送迎のためご自宅にも伺います。対象となる方の生活に近い場所で日々の業務ができるということは作業療法士として大きな利点であると感じます。

しかし通所される方とその生活に関わるとき、目に見えている今の生活はその方の人生のごく一部であり、実に何十年分もの様々なことがそこに隠れていることを考えさせられます。私の祖母は今ほとんど自分では動けないのですが、若い頃はその時代には珍しくキャリアウーマンとして頑張っていたそうです。それぞれの方にそれぞれの人生があって、元気な頭と体を持ち、誇りを持って働いていた時や、親しい人たちに囲まれて賑やかだった時や…今は目に見えないたくさんのことがあったのだと思うと何だか不思議な気持ちになります。

そこで改めて今に視点を戻してみると、ご高齢となり若い頃手にしていたものを少しずつ手放していく中でお一人お一人がやはり終わりまで幸せな人生を送ってほしいと思うのです。人生というと大きすぎて漠然としているようですが、それは一日一日の生活なのだと思います。その生活にほんの少しでも関わることができるのは幸いであるとともに畏れも感じ、気持ちがきりりとする思いです。その時その時自分の立っている場でするべきことを一生懸命やりたいと思います。

それでは次は、金沢赤十字病院の荒井寛子さんにバトンを渡したいと思います。

インフォメーション

平成23年度　専門委員会　技術研修会

●第2回　吸痰吸引の技術研修会

日　時：10月22日（土）
　　13：00 ～ 受付
　　13：30 ～ 16：00　講義・実技
　　16：00 ～ 16：15　質疑応答
場　所：七尾看護専門学校

●第2回　リーダー養成研修会

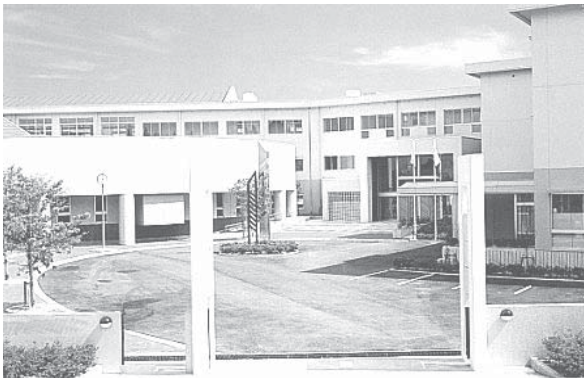
日　時：10月30日（日）
場　所：県リハセンター
予定

9:00 ～ 9:50	【業務改善の手法と進め方】（講義）
10:00 ～ 10:30	【職場の問題発見】（講義・個人ワーク）
10:30 ～ 12:00	【問題の整理】（講義・グループワーク）
13:00 ～ 13:50	【問題の整理（つづき）】（グループワーク）
14:00 ～ 15:00	【業務改善実行プランの立案】（講義・グループワーク）
15:00 ～ 16:00	【職場の問題】【業務改善実行プラン】（全体発表）
16:00 ～ 16:15	【講師まとめ】

上記研修申込：石川県作業療法士会　七尾事務局
　　TEL / FAX　0767-54-8387
　　Mail:otr@keiju.co.jp
詳細については、後日案内する。

作業療法機器　理学療法機器
製造・販売
ミナト医科学㈱
金沢営業所
金沢市金市町二18番地1
TEL 076（257）5011
FAX 076（257）6154

酒井医療株式会社
金沢オフィス
〒921-8036　石川県金沢市弥生2丁目6番16号
TEL：076-241-5721　FAX：076-241-5722
製品カタログのご案内
http://www.sakaimed.co.jp/service/productcatalog/flash.htm
SAKAImed
明日に踏み出すチカラ。酒井医療

時代のニーズに応える
即戦力を養成します

理学療法学科　昼間部3年制　35名
作業療法学科　昼間部3年制　35名
救急救命学科　昼間部3年制　35名
学校法人　阿弥陀寺教育学園
国際医療福祉専門学校七尾校
〒926-0816　石川県七尾市藤橋町西部1番地
■URL：http://www.kifs-nanao.ac.jp
■Mail：info@kifs-nanao.ac.jp
TEL 0767-54-0177　FAX 0767-54-0215

賛助会員（病院・施設）名簿　（順不同）

Ａ会員

医療法人社団勝木会
社会医療法人董仙会

Ｂ会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
学校法人阿弥陀寺教育学園
医療法人社団和宏会

Ｃ会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団片山津温泉丘の上病院
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会加賀温泉病院
医療法人社団丹生会
医療法人社団生生会えんやま健康クリニック
医療法人社団千木会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団中田内科病院
医療法人社団福久会
医療法人社団南ケ丘病院
医療法人社団洋和会
医療法人社団輪生会
医療法人積仁会
金沢医科大学病院
金沢社会保険病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
社会福祉法人北伸福祉会
社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団博洋会
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団浄心会
医療法人社団博友会
医療法人社団青樹会青和病院

Ｄ会員

医療法人社団あいずみクリニック

編集後記

東日本大震災から半年、アメリカの9.11同時テロから10年が経過し、最近の各種報道では様々な特集番組や記事を見聞しました。政治や経済もあまり明るい話題がない中、『がんばろう！』『改変を！再編を！』と前向きに行動している人もたくさんいるのですね。士会ニュースも前向きなメッセージをさらに伝えられるものにしていければと思います。今年度から広報部も新体制で取り組むことになりました。会員の皆様からも士会ニュースの発展につながるアイデアなど頂ければ幸いです。　（自分にも改革が必要!?と思う編集人）

社団法人石川県作業療法士会ニュース　年4回発行

編集担当：酒井広勝、明福真理子、中島　孝、西村誠次、米田　貢、犬丸敏康、西川拡志、橋本　実、杉浦有子、塩谷真美、田中　明、平木咲代子、牧野洋平、福井清美、寺井利夫、岩倉聡子、前田勝也、山本真一郎、藤田隆司、買手登美子、小川正人、谷内香織、岩岸桃子、中田幸栄、西出優子

発 行 所：社団法人　石川県作業療法士会
〒926-8605　石川県七尾市富岡町94　恵寿総合病院　作業療法課　0767-54-8387

発 行 人：進藤浩美　印刷：ヨシダ印刷株式会社